大阪市会会派幹事長　殿

「釜ケ崎対策」についての請願にご協力をお願いいたします

　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（略称・釜ケ崎反失業連絡会）

　　　　　　　　　　　　　　　　　共同代表　山田　実・本田哲郎・村松由夫

　　　　　　　　　　　　　　　　　参加団体

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎日雇労働組合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎高齢日雇労働者の仕事と生活を勝ちとる会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎キリスト教協友会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　西成署の暴行を明らかにする会

　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先

　　　　　　　　　　　　　　　　　　西成区萩之茶屋2-5-25釜ケ崎解放会館内

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎日雇労働組合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　西成区萩之茶屋3-1-10ふるさとの家気付

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎高齢日雇労働者の仕事と生活を勝ちとる会

　私たち釜ケ崎（あいりん地区）で日雇労働者と共に生き、活動する諸団体・個人は、「バブル経済」崩壊後の釜ケ崎において、多くの労働者が仕事に就けず、野宿を余儀なくされ、路上での無念な死を迎える状態にあることの打開を目指して、本日（9月27日）、大阪府・大阪市の行政当局に対し、切実なる要望をいたしました（添付要望書をご参照ください）。

　それと同時に、市会議長に対して、「釜ケ崎（あいりん地区）対策に関する決議」（左記）を、議場に議案として提出されるよう請願いたしました。これまでも市会において対策が真剣に討議され、対策の実施に向けて努力が積み重ねられていることと存じ、なにお今更の感を抱かれることと思いますが、腰の思い行政を叱咤し、釜ケ崎労働者を励ますために、なにとぞ市会において決議が採択されるよう御尽力いただきますよう、お願いもうしあげます。

　本来なれば、お時間をいただき、親しくご説明もうしあげてご協力をあおぐべきところでありますが、誠に恐縮ながら礼をつくすことができませんでした。ご容赦とご理解のほどをお願いもうしあげます。

　　　　　　記

釜ケ崎（あいりん地区）対策に関する決議　（案）

　日本の経済は長期に亙る不況期にあり、我々議員一同、その打開に向けて成すべきことについて論議し、公共工事費の増額あるいは不況下における経済的弱者への救済、援助についての対策を実現する努力を積み重ねてきたところである。

　しかしながら、釜ケ崎（あいりん地区）において、野宿を余儀なくされ、路上で死亡する人々が存在していることは、疑うことのできない事実である。

　釜ケ崎（あいりん地区）対策については、これまでも論議し、施策を打ち出してきたところであるが、事態の深刻さに基づく地元諸団体からの要望書が提出されたことに鑑み、さらに論議を深め、将来を見据えた新たな施策を立案する必要を認める。

　この認識が、当議会の基本となるものであることを、本決議の可決によって確認するものである。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　　上

1993年9月27日